

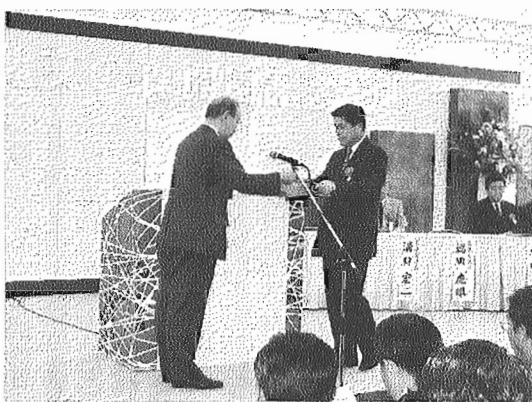
「上野原縄文の森」オープン

時空超える体験施設

約3万本の照葉樹や落葉広葉樹

国内最古・最大級の上野原遺跡の保存と活用を図り、県民に縄文時代の生活と文化に触れ親しむことができる「上野原縄文の森」が5日、国分市の川内及び上之段地区にオープンし、一般公開に

先立ち関係者による開園記念式典が行われた。式典では、須賀龍一郎知事が「縄文文化に実際に触れて時空を超えた体験が行える施設として期待している」と挨拶。続いて、県出国会議員の祝辞や工事経過報告の後、展示館建築を行った(株)植村組の植村久社長や園路正面玄関では須賀知事や



テープカットで開園を祝う関係者(上)と感謝状を授与される植村氏

＝国分市の上野原縄文の森で

谷口義一国分市長らがテープカットを行って開園を祝い、参加者らは館内の施設を見学して、古代遺跡を堪能した。

同施設は、10年度から敷地約36万㎡に総事業費124億円を投じて整備。約3万本の照葉樹や落葉広葉樹に囲まれた施設内は、古代の生活に触れる体験エリア(体験学習館・古代体験広場等)と出土品を展示する見学エリ

農業農村整備事業技術発表会

遺跡等に配慮した検討を

農業農村整備技術連盟は7日、鹿児島市の県庁講堂で第1回目の農業農村整備事業技術発表会を開き、県をはじめ県下各地の発注者及び技術者ら約500人が参加、農業土木に携わる技術者の技術力向上に向けての発表

に、参加者らは真剣に耳を傾けていた。今回の技術発表は、新しい技術や工法等への対応及び技術者の育成、技術力向上及び一般社会への必要性等の積極的なアピールを図る目的で今年度から開催。

社会へ積極的なアピールを行った発表会＝鹿児島市の県庁で

ア(展示館・埋蔵文化財センター等)に分かれていた。施工業者は次の通り。



標柱を囲み写真に納まる参加者＝川内市の吉満組で

今年度分の5カ所設置

県建築士会川薩支部(徳丸節男支部長・(株)田所土地改良課の田島由紀子氏が「地域の歴史・史跡に配慮した整備の進め方」について解説。この中で田島氏は「工事施工区域内の遺跡について保存、移設などに合わせ、遺跡などに配慮した設計変更や記録保存・移設へのアドバイスなどを行った後、工事の実施に移行しているが、今後は実施設計の段階から調査を行い、遺跡等に配慮した検討が必要」と述べた。

県建築士出水支部青年部

沿道でゴミ拾い等



作業後に写真に納まる参加者＝出水市で

お手軽で便利な購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

参加者は次の通り。
(株)坂東組 (株)田中工務店 (株)リライフ (株)井島建設 丸久鋼建設(株)桑本組 (株)川窪建設 (株)大田建設 竹崎建設(株)イン (株)ヤマサキ電機産業 鶴喰建設 (株)松下住建 (株)別府水道住宅設備 出水アルコール工場 出水土木事務所 出水市役

設計(株)佐藤総合企画 外2社▽展示館建築(株)植村組外8社▽埋蔵文化財センター建築＝重松建設(株)丹青社
設計(株)外5社▽園地設計・施工(株)大紀造園設計事務所外104社▽展示(株)丹青社
山之内町武元、川内市八久保の5カ所に建立し、上部のコンクリート製案内板などは専門業者が近日中に取り付ける。
同日は、同会賛助会員である(株)吉満組(吉満祐市社長)製材工場で、防腐・防蟻薬液注入、根元の銅板巻きの無償加工した丸太状の標柱を前に会員25人が集合して出発式が行われた。まちづくり委員会の中俣知大事業部長(教習舎舎舎舎舎舎)の進行により、徳丸支部長が「今年度予定の標柱5カ所の建立を行います。が、移動・作業中などの事故やけがのないようによろしくお願いします」により、標柱の建立が完了した。

と挨拶。西一紀同委員長(西建築設計事務所)が分担説明などを行い、標柱を積んだトラックなどに分乗して担当地へ向かい建立した。
また同イベント期間中、絵画作品展、建築無料相談などを実施する。

顧客の要望に迅速対応

駿河 寿樹さん

業務内容は、各種セメントやタイルなどの建設資材の配達兼営業をしています。入社して12年になりますが、幅広く数多い商品を熟知している。入社して12年になりますが、幅広く数多い商品を熟知している。

趣味は釣り。釣歴は6年。特に磯釣りが好きで、鯛やクロダイを釣りに各地へ出向きます。また、月に1回は妻の出身地である種子島へ出張するので、休日に時間があれば南種子町のとあるポイントに行きます。そこに辿り着くまでに岩場を越えたり、泳いだり大変ですが、その苦労も吹き飛ばすくらいクロダイが入れ食いなので止まれません。

(財部建材店)

対し、信頼に込められるようにしていきたいと思っています。

は、川内市西向田町の九州電力(株)川内営業所ギャラリーで、同街道写真・パネル展示や児童・学生による「まちづくり」夢一杯になった。

坂東部長は「週末にもかかわらず市役所や土木事務所の職員の参加も頂き感謝している。これからも地元地域への貢献活動を行っていききたい」と抱負を語った。